

## 京都市立鳴滝総合支援学校

〒616-8245 京都市右京区音戸山山ノ茶屋町 9-2  
TEL : 075-461-3221 FAX : 075-462-1934



### 学校紹介と防災プログラム

- ◆ 病院に入院している病弱の児童生徒（小中学部）と京都市全域から通学する知的障害の生徒（高等部生活産業科）が学ぶ特別支援学校です。
- ◆ 児童生徒数は 78 名、教職員数は 48 名です（H28/12/31 現在）。
- ◆ 高等部生活産業科では全員が卒業後の企業就労を目指し、3つの専門教科（ビルメンテナンス・クリーニング・福祉介護）を学んでいます。
- ◆ 昨年度から生活産業科 1 年生が「防災学習プログラム」（全 4 回）に取り組んでいます。
- ◆ 「防災学習プログラム」では、地域（京都市右京区の宇多野学区）の方々にも参加していただき、地域協働活動として取り組んでいます。

#### \* 防災学習プログラム導入のねらい \*

- ・災害時の自助と共助に向けた知識理解とよりよい行動がとれるようにする
- ・災害に見舞われた時でも主体的に動けるようになり、地域の人々と共に何らかの役割を担って助け合えるようになる

#### 指導方針

- ・現実社会の中で自分が取るべき行動や他者との関わりの中で自分にできることが何かを考えていけるような内容を盛り込む。
- ・地域（宇多野学区）・PTA・学校運営協議会・佛教大学との協働活動を通して、社会の一員としての自分の役割に気づける機会とする。

#### 目 標

- ・自助の為の知識・スキルを身につける
- ・避難所で過ごすことになったとしたらどうしたらよいのかがわかる
- ・周囲の人を助けられる知識・スキルと気持ちを持つ

### 防災学習プログラム（H27 年度） H28 年度の防災プログラムによる授業の様子は本校 HP をご覧下さい。

① 9 月 1 4 日 10:40-12:25	防災とは	(1)「防災かるた」を使って防災について学ぶ (2)防災袋の中身を考えよう（ワークショップ）
② 1 1 月 6 日 10:40-12:25	災害時の生活を体験してみよう	(1)防災食をつくろう ◆アルファ化米の試食（協力：女性会） ◆乾パン・グラмпリ～何をつけたらおいしい？ (2)各自持参した防災袋の中身を発表し、持ってきたもので何ができるか考えよう
③ 1 月 1 5 日 13:10-14:55	生徒が行う避難所運営(初回)	(1)避難所開設（「避難所運営協議会」立ち上げ宣言） (2)役割分担と訓練（演習）（協力：PTA） 総務（管理）班、物資班、食料班、衛生班、情報班
④ 2 月 5 日 10:40-12:25	生徒が行う避難所運営(2回目)	(1)避難所を開設し、それぞれの役割を果たす ※参観者に避難者になっていただく

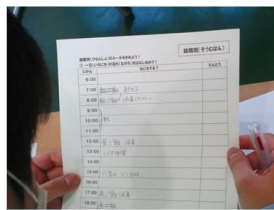


★平成 29 年 2 月 2 日（木）10:40-12:25 に避難所運営の授業を公開します。

詳しくは本校 HP「職業学科 3 校合同研究発表会」の二次案内および公開授業一覧をご覧ください。

## 総務班

避難所のまとめ役:人数確認・把握し、避難所ルールを話し合いで決めます



## 物資班

物資の管理:食料、水、毛布など管理簿をつけて貸し出します



## 食料班

食事の提供:避難食を作り、できたご飯をパックに分けます



## 衛生班

避難所の衛生:マスクを配り、一人ひとりの手を消毒します



## 情報班

災害、生活などの情報提供:大事なことを貼り出します



## ルールの発表

代表から決まったルールの発表がありました  
そのあと全員でラジオ体操をしました



宇多野学区  
(宇多野小学校)  
指定避難所



鳴滝総合支援学校  
指定避難所



本校生徒は全市から通学している為、地元宇多野学区に居住する生徒は全体の約3%（2名）に過ぎない。しかし、近年様々な取組（福祉介護初任者研修・認知症サポーター養成講座の開講、メンテナンス演習、学校施設の地域開放等）を通して本校生徒の地域での認知度は徐々に上がってきている。今回の防災の取組では、宇多野学区との協働・連携を特に重視し、地域協働活動として取組を開始。自治連合会や女性会の支援を要請するとともに、本校の生徒の様子を直に知っていただき、理解を深めた。

## 避難所運営（H27/2/5）の参観者の感想

- 子ども達の落ち着いた様子が印象的でした。防災の授業は衝撃的でした！！（京都市）
- 防災学習は32時間にわたって様々な視点から指導がなされており、素晴らしいと思った。
- 防災学習での生徒さんの生き生きとした運営活動の姿が印象的でした。初めて避難所運営の授業を見ましたが、子どもたちにとって自助、共助の具体的な実践としてとても有効だと感じました。
- 大変規律ある授業で驚きました。また、避難所運営シミュレーションでは、一人ひとりがしっかりと役割をはたして、素晴らしかったです（滋賀県）
- 児童・生徒が自分たちで学びを深めている姿が印象的でした。特に防災の授業は、この学校での学びを生徒たちが十分に活かして取り組んでいて感激しました（広島県）
- 防災の授業の取組が大変勉強になりました。アクティブ・ラーニング…。避難訓練として年に決められた回数こそなす防災の学習が、より現実的かつ生徒自身が自分自身で実践できるという証のような学習でした。今後の参考にさせていただきたく思いました（北海道）

## 学年・教科等の学習（H27年度）

教科	学習内容	学習の目的
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災を学ぼう」</li> <li>・「私の避難場所」</li> <li>・「地震から身を守ろう」</li> <li>・「台風・豪雨から身を守ろう」</li> <li>・「災害に備える」</li> <li>・「積乱雲・津波から身を守ろう」</li> <li>・「避難所生活を考える」</li> <li>・「避難所運営について」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災の日」から「防災」「災害」「避難」とは何かを知る</li> <li>・京都市の広域避難場所・指定避難場所から自分の避難場所を知り、どういう経路で避難するかを考える</li> <li>・「自然災害」の影響と身を守るための方法を知る</li> <li>・災害時の「非常持ち出し袋」について考え、準備する</li> <li>・水害による避難所についての新聞記事から避難所生活について知り、生活者が困る点がどこかを知る</li> <li>・避難所運営について知り、必要な役割を知る</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「災害を乗り越える」</li> <li>・「思いやりって」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物資料を使用し、災害にあった時の人の気持ちを考え人と人との支え合いの大切さについて気づく</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災学習を振り返る」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プログラムごとに毎回振り返りを行い、学習内容とその時の気づきを言語化する</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然と生活との関係」</li> <li>・「電気について考えよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候の見分け方や備え、地震や水害のメカニズムを知る</li> <li>・生活の中で電気の重要性を学び、災害時の生活を考える</li> </ul>